

サンデーサイエンス

星座早見盤をつくろう

担当：地学研究室

1 内容

自ら作成した星座早見盤を活用して天体の観測を行うことで、天体への興味・関心を高める。

【星座早見盤とは】

特定の日時と時間での星空を調べるための特殊な星図である。取り扱いのしやすさから大抵は円盤型をしている。

日本では 1907 年に日本天文学会名の入った早見盤の販売が始まる。厚紙によって、軽量かつ手軽なもののためその後も人気を博した。一般への普及は、スプートニク 1 号などが打ち上げられ、宇宙への関心が高まった 1950 年代に入ってからのものであり、様々なタイプの製品が販売されるようになってきた。現在では、「ミュージアムショップ」などで入手のできる、小型のペンダントタイプのものや、時計と連動して現在の星空を表示するコスモクロックが販売されるようになった。

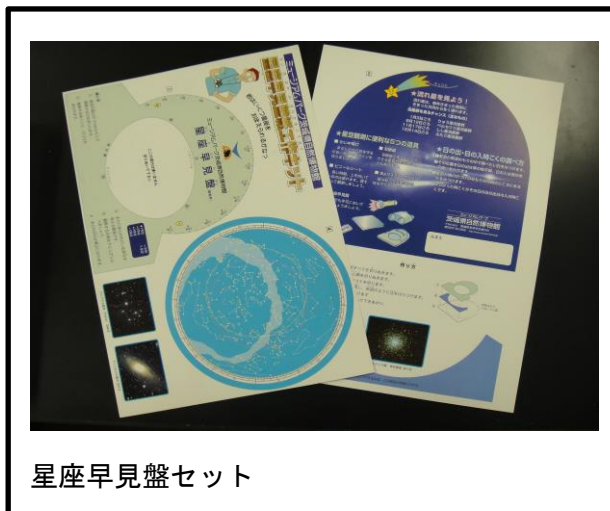
2 準備物

星座早見盤セット、はさみ
のり、カッター、カッティングシート

3 手順

- (1) 代表的な星座を紹介し、関心を高める。
- (2) 星座早見盤の台紙から、各パーツをすべて切り取る。
- (3) 台紙をのりで貼り合わせ、間に星図を挟む。
- (4) 星座早見盤を使って天体を観測する。

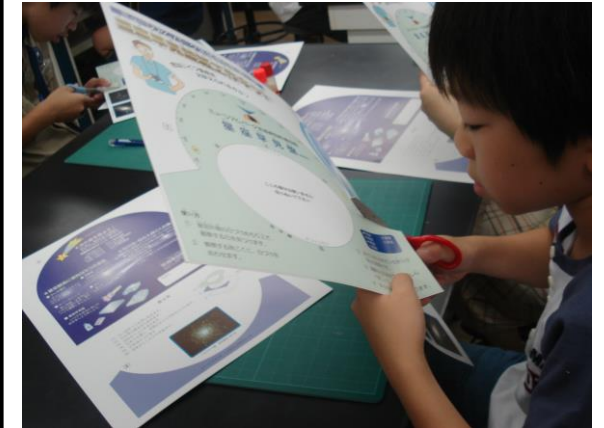
- ①星図外側の日付めもり上で、観察する日を見つけ、観察する時刻と合わせる。
- ②観察する方角を下にして観測を行う。



星座早見盤セット



台紙から切り取った状態



用紙は 2 枚あるので両方切り取る



台紙の間に星図を挟む



完成したものを使用して観測する

4 注意点

- ・長い時間、上を向いて観測するのは疲れるので、寝そべて観測するとよい。
- ・観測時には懐中電灯が必携。懐中電灯の電灯部分に赤いセロハンをかぶせ星座早見を照らせば、星空に視線を戻したときに目が暗さに早く慣れる。